

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-153739

(P2000-153739A)

(43) 公開日 平成12年6月6日 (2000.6.6)

(51) Int. Cl.

B60R 7/04

識別記号

FI

B60R 7/04

テマコード (参考)

T 3D022

審査請求 未請求 請求項の数 5 OL (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-328969

(22) 出願日 平成10年11月19日 (1998.11.19)

(71) 出願人 000169916

高島屋日発工業株式会社

愛知県豊田市大島町前畑1番地の1

(72) 発明者 岩田 文

愛知県豊田市深田町2丁目55番地

(74) 代理人 100059096

弁理士 名嶋 明郎 (外2名)

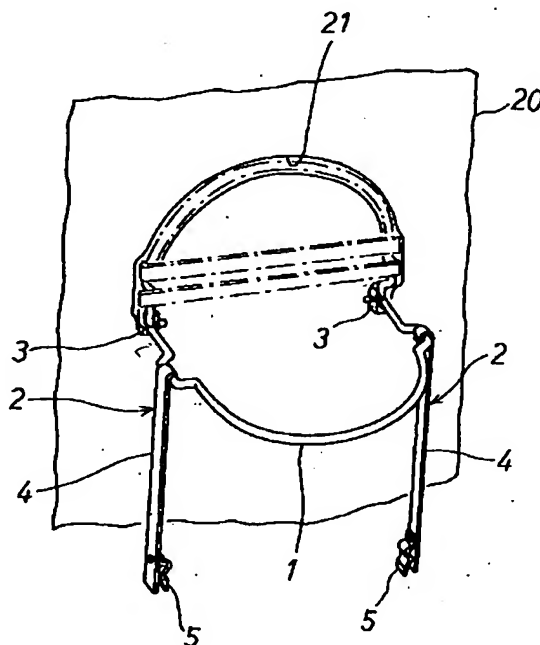
Fターム (参考) 3D022 CA11 CB01 CC07 CD02 CD05  
CD06

(54) 【発明の名称】 車輦用の簡易ゴミ袋装着装置

(57) 【要約】

【課題】 必要時に簡単にゴミ袋を装着することができ、不必要な時にはすっきりと収納されて邪魔になることのない車輦用の簡易ゴミ袋装着装置を提供する。

【解決手段】 車輦の内装基材20に軸受部材3、3を介してゴミ袋吊下用の半環状部材1を前記内装基材20の前面に添って折り畳まれた不使用納状態と内装基材20の前面から略水平に張出された使用状態の2態様に保持できるように両遊端部をもって軸支させ、また、半環状部材1の左右対向位置には一対の袋把手係止用のフック部材2、2を、この半環状部材1が使用状態とされたときに下向きに垂下された使用状態とされ、半環状部材1が不使用状態とされたときには内装基材20の前面に添って折り畳まれた不使用状態とすることのできるよう、基端をもって根着する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 車体の内装基材(20)に軸受部材(3)、  
(3)を介してゴミ袋吊下用の半環状部材(1)を前記内装  
基材(20)の前面に添って折り畳まれた不使用納状態と内  
装基材(20)の前面から略水平に張出された使用状態の2  
態様に保持できるように両遊端部をもって軸支させ、前  
記半環状部材(1)の左右対向位置には一対の袋把手係止  
用のフック部材(2)、(2)を、この半環状部材(1)が使用  
状態とされたときに下向きに垂下された使用状態とされ、  
半環状部材(1)が不使用状態とされたときには内装  
基材(20)の前面に添って折り畳まれた不使用状態とする  
ことのできるように、基端をもって枢着してあることを  
特徴とする車輛用の簡易ゴミ袋装着装置。

【請求項2】 車体の内装基材(20)に半円状の凹部(21)  
が形成されていてこの凹部(21)内に軸受部材(3)、(3)  
が設けられ、半環状部材(1)およびフック部材(2)、  
(2)が不使用状態とされたとき両者が共に前記凹部(21)  
の内部に収納される請求項1に記載の車輛用の簡易ゴミ  
袋装着装置。

【請求項3】 軸受部材(3)には半環状部材(1)を不使  
用状態に保持するためのロック用突起(3c)が形成されて  
いる請求項1または2に記載の車輛用の簡易ゴミ袋装着  
装置。

【請求項4】 フック部材(2)が、半環状部材(1)の左  
右対向位置に基端をもって枢着されるレッグ部(4)と、  
該レッグ部(4)の先端に取り付けられた袋把手係止用の  
係止片(5)とからなるものである請求項1または2また  
は3に記載の車輛の簡易ゴミ袋装着装置。

【請求項5】 一対のフック部材(2)、(2)が、不使用  
状態とされたときに干渉し合わないよう半環状部材  
(1)に取付けられている請求項4に記載の車輛の簡易ゴ  
ミ袋装着装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、必要時に簡単にゴ  
ミ袋を装着することができ、不必要な時にはすっきりと  
収納されて邪魔になることのない車輛用の簡易ゴミ袋装  
着装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来から車輛用のゴミ入れとしては、例  
えば座席の足元スペースにボックス状のごみ箱を後付け  
したものが知られているが、未使用時にもスペースをと  
ってしまい邪魔になるという問題点や、収納したゴミの  
取り出しが面倒であるという使用上の問題点があった。  
また、例えば、実開平5-58491号公報に開示され  
るように、シート背凭れの背面にフック等の吊り具を設  
け、これに使用済の樹脂フィルム製の把手付包装袋を吊  
り下げて簡易ゴミ袋とすることも行われているが、この  
場合には間口が閉じた状態となっているのでゴミの投入  
がやりにくいという問題点や、走行中にゴミ袋が揺れて

雑音を生じたり搭乗者の脚に当たったりすることがあり  
煩わしいという問題点があった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記のような  
従来の問題点を解決して、必要な時にだけ簡単にゴミ袋  
を装着して間口の広い使い勝手のよいゴミ入れを形成す  
ることができ、一方、不必要な時にはすっきりと収納され  
て何ら邪魔になることもなく優れた使い勝手を発揮する  
ことができる車輛用の簡易ゴミ袋装着装置を提供する  
ことを目的として完成されたものである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するた  
めになされた本発明の車輛用の簡易ゴミ袋装着装置は、  
車体の内装基材に軸受部材を介してゴミ袋吊下用の半環  
状部材を前記内装基材の前面に添って折り畳まれた不使  
用納状態と内装基材の前面から略水平に張出された使用  
状態の2態様に保持できるように両遊端部をもって軸支  
させ、前記半環状部材の左右対向位置には一対の袋把手  
係止用のフック部材を、この半環状部材が使用状態とさ  
れたときに下向きに垂下された使用状態とされ、半環状  
部材が不使用状態とされたときには内装基材の前面に添  
って折り畳まれた不使用状態とすることのできるよう  
に、基端をもって枢着してあることを特徴とするもので  
ある。

## 【0005】

【発明の実施の形態】以下に、図面を参照しつつ本発明  
の好ましい実施の形態を示す。図面は、本発明を図6に  
示されるように、自動車のドアトリムの前面やフロント  
シート背面などの内装基材20に取り付けた場合を示す  
ものであって、図中1は弾性を有する金属製ワイヤある  
いはプラスチック製ワイヤからなるゴミ袋吊下用の半環  
状部材、2はこの半環状部材1の左右対向位置に基端を  
もって枢着した一対の袋把手係止用のフック部材であ  
る。

【0006】前記半環状部材1は、内装基材20に形成  
してある半円状の凹部21の内部両側に軸受部材3を介  
して両遊端部をもって軸支されていて、内装基材20の  
前面に添って折り畳まれた不使用納状態と、内装基材2  
0の前面から略水平に張出された使用状態の2態様に保  
持できるように構成されている。また、前記半環状部材  
1を軸支する軸受部材3には、図2に示されるように、  
半環状部材1の遊端を挿通支持させる挿通孔3aと、半  
環状部材1を水平状態に支持するための受け部3bと、  
半環状部材1を内装基材20の凹部21内に収納した状  
態をロックするためのロック用突起3cが形成されてい  
る。

【0007】また、半環状部材1の左右対向位置にそれ  
ぞれ基端をもって枢着した袋把手係止用のフック部材2  
は、簡単にゴミ袋を装着するためのものであって、半環  
状部材1が不使用状態とされたときにはこの半環状部材

3

1と同一平面内に折り畳まれた状態とすることができるとともに、半環状部材1が使用状態とされたときには下向きに垂下された状態とされるように回動自在とすることができる。

【0008】さらに、図示のフック部材2は、半環状部材1の左右対向位置に基端をもって枢着されるレッグ部4と、該レッグ部4の先端に取り付けられた袋把手係止用の係止片5とからなるものとされており、前記係止片5には下方に向けて開口する袋把手部装入口5aを形成してあり、また、図4に示されるように、フック部材2はワイヤ部材1と同一平面内に折り畳んだ際に互いに干渉し合わないよう平行にずらした位置に取り付けられた構造となっていて、折り畳まれたとき前記係止片5に形成された係止用凹部5bが半環状部材1に係合されてしっかりと保持されるように構成されている。

【0009】このように構成されたものは、通常は図4および図6に示されるように、半環状部材1が内装基材20の前面に添って折り畳まれて凹部21内に収納されているうえに、フック部材2も半環状部材1と同一平面内となるよう折り畳まれた状態に保持されていて何ら飛び出し部分がないので邪魔になることもなく、またドアの作動に支障をきたすこともない。

【0010】そして、ゴミ入れを用意する必要がある場合には、図1に示されるように、フック部材2を水平状態に引き倒したうえ一对のフック部材2、2を回動して垂下した状態とし、次いで、図5に示されるように、把手部31付きのゴミ袋30を半環状部材1内へ挿入したうえ、把手部31を折り返してフック部材2の係止片5にひっかけるのみで簡単に間口の広い簡易ゴミ箱が形成されることとなる。また、ゴミ袋30内にゴミがたま

4

た場合は逆の手順により簡単に取り外すこともでき、使い勝手に優れたものである。

【0011】

【発明の効果】以上の説明からも明らかなように、本発明は必要な時にだけ簡単にゴミ袋を装着して間口の広い使い勝手のよいゴミ入れを形成することができ、一方、不必要な時にはすっきりと収納されて何ら邪魔になることもなく優れた使い勝手を発揮することができるものである。よって本発明は従来の問題点を一掃した車両用の簡易ゴミ袋装着装置として、産業の発展に寄与するところは極めて大である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態を示す斜視図である。

【図2】軸受部材を示す斜視図である。

【図3】係止片を示す斜視図である。

【図4】半環状部材を内装基材の凹部内に収納した状態を示す斜視図である。

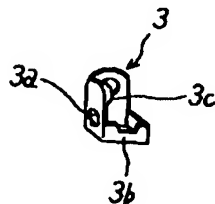
【図5】簡易ゴミ入れを形成した状態を示す斜視図である。

【図6】本発明を適用した自動車用ドアトリムを示す正面図である。

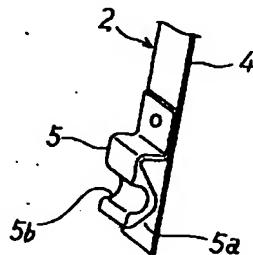
【符号の説明】

- 1 半環状部材
- 2 フック部材
- 3 軸受部材
- 3c ロック用突起
- 4 レッグ部
- 5 係止片
- 20 内装基材
- 21 凹部

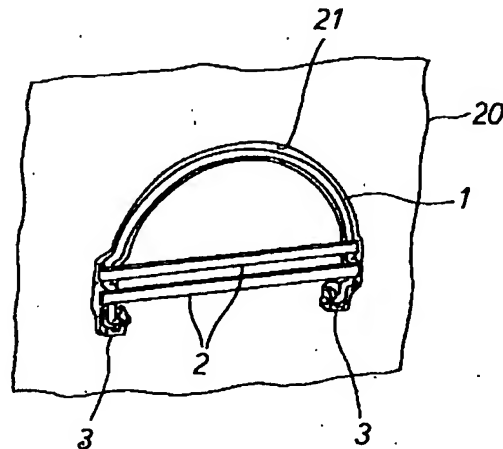
【図2】



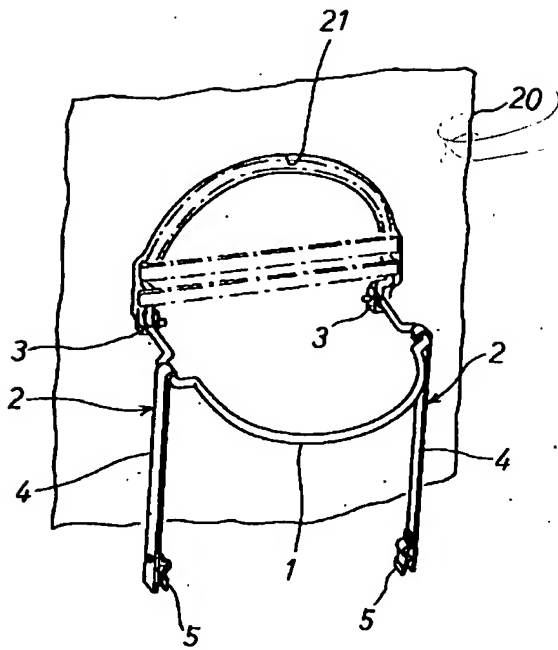
【図3】



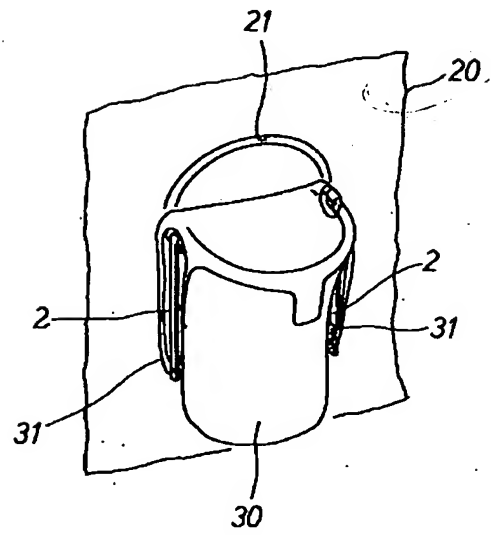
【図4】



【図1】



【図5】



【図6】

